

別紙2「第4回羽村市長期総合計画審議会 委員の意見等」

議事(2) 職員プロジェクトチームによる検討の結果について

No	委員名	意見・感想等
1	江本委員	<提案3>「いつでもどこでもつながれる!~スマートシティ HAMURA~」に共感する。市全体のデジタル環境整備のための人材の発掘や登用が必要になってくると考える。
2	中村委員	若者の意欲に期待する。自由に提案できる職場であってほしいと願っている。「制服の廃止」を提案する。費用もかかるし、何よりも「動的」ではない。若さが出る、個性と違いが出て、活気がみなぎる庁舎であってほしい。
3	佐藤委員	とてもよい提案5つである。全て実現、早期着手が楽しみである。若手の活躍が市政を変える。
4	池上委員	入庁2年目から8年目の23人の職員が、5つの班に分かれ、提案1「子育て世代のUターンの促進」、提案2「稼げる行政」、提案3「デジタル時代における「変化への対応」」、提案4「働く」、提案5「アフターコロナにおける防災の在り方」など、まちの未来像やビジョン、市のミッションを検討し、事業案など具体的に方向性を示せたことは素晴らしいと思った。多様性に配慮したひとりも取り残さないまちを、市民とともに作り上げていってほしいと思った。
5	伊藤委員	非常に良い取組みと感じた。いただいた提案を真剣に長期計画に反映できるよう、議論していけると良いと思う。
6	成沢委員	素晴らしいプロジェクトと思う。ぜひ今後も続けて下さい。
7	木下智実委員	どの提案もとても優れていると感じた。特に、提案2の稼げる行政、提案3のスマートシティHAMURAは非常に重要であると考え。しかし、どの提案においても環境面における持続可能な社会をつくる視点が欠けていると感じた。羽村市には林業に関わる仕事は少ないかもしれないが、立地的に奥多摩が近いことを生かし、持続可能な木材利用の拠点にするなどの方策も考えたいと思った。羽村市の公共施設には、木材利用がより見込めると感じている。人材育成の観点も付け加えたい。特に学校教育の中で地域を活用し、地域創生の中で教育機関を活用することが大切だと感じる。例として奥多摩町の実践事例を添付する。(※実践事例をご覧になりたい方は事務局へご連絡ください)
8	平野委員	結果報告の内容に、若手職員ProjectTeamの存在を頼もしく感じた。この職員ProjectTeamを立ち上げた経緯や活動状況などが、今後さらに市民に認識されるよう期待している。できれば近い将来、高い政策立案能力をもった若手職員たちが活躍する組織風土の市役所となれば、それそのものが市の強い魅力になると想像できる。特に若い子育て層にとっては、親しみやすい地元行政として好印象を抱かれるであろう。